

みんなの広場

PATIOとは「中庭」という意味。
町民の皆さんが集い、
自由に意見を語り合う広場です。

ひとこと

初めて見た光景に
つい、感動してしま

荒井勇三さん(明野)

朝、町内で邑楽南中学校の生徒さ
んがゴミ拾いをしながら、登校して
いるのを見ました。
その姿にいい感動。子どもたちの
心の教育ですね。大人たちにも気付
かせてくれるような光景でした。
「継続は力なり」。今後も長く続け
ていってほしいと思います。



いつも楽しく広報
見ています。毎月1日が
楽しみです。
これからがはじまり
良い広報になって下さい!!

②はい！頑張ります！私たちも毎
月1回の発行日を楽しみにしていま
す。そして、皆さんから広報紙の感
想をお話いただくと、とてもうれ
しいです。ぜひお寄せください。



邑楽南中学校のボランティア活動の
一つ「ウォークディ」。地域の環境美化
活動として年3回行なわれています。

情報板

まちかど

シンボルタワー「未来MIRAI」の
ナイトコンサート第4弾

- ▼期日 3月26日①
- ▼時間 午後7時～8時 午後6時開館
- ▼会場 シンボルタワー「未来MIRAI」
- ▼定員 80人(先着順)
- ▼内容 ミニコンサート(出演：バイオリン・若旅菜穂子、根本理恵、温かい飲み物の無料配布など)
- ▼入場チケット 1人100円(前売り先行販売限定60枚)
- ※就学前の児童(保護者同伴)は無料。
- ▼チケット販売開始 3月14日①午前9時
- ▼チケット販売先 役場商工振興課
- ※土・日曜日、祝日を除く、役場開庁時間に限りです。
- ▼申込・問合先 役場商工振興課 47-5026

家庭倫理講演会

- ▼日時 3月26日①
- ▼時間 午前10時開演 ⑨時30分開場
- ▼会場 館林市三の丸芸術ホール(館林市城町)
- ▼講師 吉川和儀先生(倫理研究所)
- ▼テーマ つながる
- ▼入場料 1,000円
- ▼問合先 家庭倫理の会(館林市(中村) 88-13079)
- 上州邑楽七福神めぐりー春ー
- ▼期日 出発時間 4月1日①午前9時
- ▼集合場所 シンボルタワー前
- ▼内容 上州七福神を中心に、道中(23km)の自然と文化財を巡る
- ▼持ち物 弁当、飲み物、雨具など
- ▼参加費 100円(保険代)
- ▼申込方法 当日申し込む
- ▼問合先 上州邑楽七福神を愛する会(栃尾) 090-0147-1210704

KOHO 広報 クイズ

問題の答えをはがきで送ってください。全問正解者の中から、抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。

【今月の問題】

- 第1問 3つの桜コース。全てで見られる桜は？
A.エドヒガンザクラ B.ソメイヨシノ
C.ソメイヨソノ (ヒント5～7ページ)
- 第2問 町立図書館で4月から開始。雑誌〇〇制度
A.スポンサー B.サポーター
C.リピーター (ヒント8ページ)

応募方法 はがきに、答え(例：第1問-A)・住所・行政区・名前・年齢を書いて郵送

あて先 〒370-0692 邑楽町役場企画課「広報クイズ」係

締切 3月16日(日)(当日の消印有効)

※当選者は広報おうら4月号で発表します。

【2月号の当選者】(応募数40通、全問正解31通)

- ※敬称略 石川由美(4区) 青木晴代(9区)
- 三田恵子(15区) 井上千代子(17区)
- 和田ちあき(17区) 木村多美子(20区)
- 野口文男(23区) 久保田暖乃(24区)
- 小貫節子(26区) 東富美子(34区)

シンボルタワー ナイトコンサート 第4弾



若旅菜穂子
根本理恵
前売り
先行販売
限定60枚
3/26(日) PM7:00～



めぐみ
富岡 愛実さん
じゅうぞう
十蔵くん(3歳5か月)・玄慧くん(2歳0か月)
(十三軒・27区)

日本らしい名前を…と名付けた2人の名前。由来を語るの簡単
ではありません(笑)。おもちゃで遊ぶときも、庭で遊ぶときもいつ
も一緒にの年子です。けんかして傷をつけ合うこともあるけど、それ
は男同士、対等です。食欲旺盛で大きくなった2人。十蔵はこの春
から幼稚園、そして玄慧は8月にお兄ちゃんになります。強さと優
しさを兼ね備えた、男らしい大人になってほしいと願っています。

DREAM 夢

現在何をしていますか？
私、教師になりたいんです。小学生
のときの、ある先生の音楽の授業
が楽しくて、それがきっかけです。
教育学部に通う大学3年生です。

大学生生活エンジョイ中？
「今しかできないことをしたい」
と、自分の得意な分野にも手か
ら足から突っ込んで挑戦してい
ます(笑)。いろいろな経験が子ど
もたちとの語らいに生きてくる
かなって考えてます。髪の毛を染
めていられるのも今だけかな。



松崎 桃子さん 21歳
Matsuzaki Momoko (水立大黒・23区)

「小学校の音楽の教師になりました」という未来の話
イメージは、子どもの声、楽器の音、私の声が響き合う授業。「次は音
楽の授業だ」みたいに、子どもがワクワクするような授業をしたいで
す。それと、音楽が得意な子どもだけでなく、苦手な子どもにも手を
差し伸べてあげたい。音楽の楽しさだけでなく「出来た！」「(僕は、私
は)頑張った！」っていう成功体験をたくさんさせてあげたいです。そ
して、子どもの可能性を広げることができたら…と思っています。

●あて先 〒370-0692 (住所は不要) 邑楽町役場企画課広報広聴係
☎ 47-5007 ☎ 89-0136 E-mail koho@town.ora.gunma.jp
※誌上匿名はOKですが、記念品発送などに必要ですので、必ず
実際の名前・住所・年齢・電話番号をお書き添えください。

俳句 文芸

寒風のおじん軍団活歩する 神谷公太郎 春塵の引幕のごと疾走す
ひやりはつと命に感謝寒の朝 神谷 文江 草萌ゆるまだまだ遊ぶ児らの声
梅の花今読み聞かせ真つ最中 小林なみ子 己が幸杖つきひろう春のみち
福は内声高らかに春を呼ぶ 福島 慶子 ふらここや飛び乗れそな雲一つ
突風が春の目覚めを知らせてる 曾我 公子 野道往く新芽萌えてる詩を詠う
絵馬れのかさなり揺れて梅萌ゆる 赤坂 花子 ひつじぐさ池の水面を覗き居る
春雪の生まれて消ゆるいのちかな 大川いく代 中島 弥市

短歌

六尺が六メートルに舗装され夢の農道この冬仕上がる 大塚 博司
参男の初孫ももう二才なり可愛ゆき仕草に老はいやさる 沼田とし子
電話あり遠く離れて老老の健康たづねお互様を 遠藤 博道
ふくいくと蠟梅重る陽だまりの道をたどれば「よっていがっせ」 持田 静江
白鳥の飛来すが町シンボルタワー浮き立つ白鳥イルミネーション 壽命 秀次
この頃は空家が目立つ時なれど若き夫婦があいさつに訪ず 茂木いく子
預金なし年金少して子の世話になりしが詐欺の電話もきます 坂橋 浩子
初日さす真白き陣子の冬座敷孫の笑顔が元気をくれる 島田 初美
ありがとうの文字の多くに胸痛む暮に手にする亡母の手帳よ 菅谷千枝子
尼さんの語り愉しき里石寺今も伝わる蘇民の祭り 橋本 俊幸
産卵の真近に迫る蟬が壁に爪立て五日動かず 山崎 静子

投稿募集

①イラスト・絵手紙 ②4コマ漫画 ③詩・ポエム ④短歌・俳句
⑤告知コーナー(イベント案内やメンバー募集など)
ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな
方法でも結構です。掲載者には粗品を進呈します。

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

毎年12月にイチゴの実が赤くなるとほっと一安心、5月にイチゴの出荷が終わるとまた一安心。これがイチゴ農家の一年です。

就農したのは13年前。最初からイチゴ農家になろうと決めていました。それも、親がイチゴ農家で昔から手伝いをしていたから。そして、高島地区の土壌はイチゴ作りに適していたことが決め手でした。

就農してからは、苦労もたくさんありましたが、イチゴ作りの面白さにのめり込んでいってしまいました。

イチゴは苗作りから始めると収穫するまで一年以上。育

苗↓定植↓収穫・出荷です。特に苗作りは、目をかける工程です。病気や虫害に気を付け、一年かけて定植できる苗に育てます。

定植後は温度管理や水分管理、追肥時期にも気を配り、葉かきなど苗の手入れをしながら、苗の成育を見守ります。自然と愛情が芽生えてきます。やがて、花が咲き、実をつけ赤く色づき収穫できたときにはほっと一安心。大きくて赤い、おいしいイチゴを収穫するには管理が重要ですね。

収穫期に入ると、イチゴは待ったなし。収穫は早朝の気温の低い時間に。その後、パッ

ク詰め作業となります。ここが、収穫よりも気を使います。傷や痛みなどがないか確認して詰めます。イチゴはあまり人の手に触れない方がよいので、最低限の手数で詰め作業を行います。理想は収穫と詰めめの2回といわれています。

こうした一年を毎年過ごしますが、これだけ手間がかかるので、イチゴが出来たときの喜びは大きい。そして、愛情をかけた分だけ、赤く、大きく実をつけてくれます。これがイチゴ作りの魅力ですね。

これからも、皆さんからの「おいしい」をやりがいに、赤く、大きなイチゴを届けます。



箱詰め作業は地道。傷や痛みがないかチェックしながら行います。

イチゴは愛情の分だけ赤く、大きく、実をつける



村田 博史さん
(谷中蛭沼・11区)

むらた・ひろし●1959年生まれ。44歳のときに就農。現在、邑楽町唯一のイチゴ農家。今年から妻・多美子さんが就農し、夫婦で営む。村田イチゴ園として直売も行っている。栽培品種は、大きくて甘さが特徴の『やよいひめ』。



おうちの仲間たち No.343

● オレンジパイキー ●

オレンジパイキーは、17年続くサッカーサークルです。当時、邑楽町の成人式で久しぶりに会った邑楽中の同級生たちで、「地元でサッカーやりたいね」という話になったことがきっかけ。現在は20～40歳まで20人で活動しています。基本は町の大会などの試合が中心。おかげさまで、毎年3位以内(11チーム中)に入賞できています。長年、上位を維持するのは大変ですが、若い力を借りて、頑張っています。このチームのモットーは「サッカーを楽しむ」ということ。先輩・後輩関係なく、仲良くサッカーをするための雰囲気づくりを大切にしています。もし、写真に知っている先輩や後輩を見つけたあなた、一緒にサッカーをやりませんか。オレンジパイキーは邑楽でサッカーができる場所です。気軽に遊びにきてください。

活動日 毎週木曜日
時 間 午後7:30～9:30

場 所 スポレク広場
問合せ 町民体育館☎88-5355



FRIENDS